



曾於市議会だより



楽しい水遊び（覚照寺保育園）（P18 参照）

目次

地域振興住宅建設事業に追加補正	2
市政を問う	5
委員会報告	13
平成 25 年度議会報告会開催	16

第33号

平成 25 年8月発行

発行：鹿児島県曾於市議会 編集：議会広報等調査特別委員会

〒 899-8692 鹿児島県曾於市末吉町二之方 1980 TEL 0986 - 76 - 8816 FAX 0986 - 76 - 8901

に 補正



末吉町 柳迫団地

6月定例会は、6月3日に開会し、6月20日までの18日間の日程で開かれました。

定例会では、平成25年度予算の補正に関するものの他、議案15件、陳情3件、発議2件、人権擁護委員候補者の推薦3件、監査委員の選任1件などを審議し議決しました。

地域振興住宅建設事業 3億3100万円追加



6月定例会

予 算

☆平成25年度曾於市一般
会計予算の補正

(全会一致 可決)

今回の補正は4億8173万5千円を追加し、歳入歳出それぞれ223億3173万5千円となりました。

歳入は、国庫補助金の農業基盤整備促進事業費補助金1111万円や県補助金の保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金2230万円、活動火山周辺地域防災営農対策事業費補助金1093万1千円、基金繰入金の財政調整基金繰入9044万4千円やふるさと開発基金繰入金3億円、他会計繰入金の介護保険特別会計繰入金1561万5千円の追加が主なものです。

歳出は、曾於市のホームページ制作委託費685万

1千円、養護老人ホーム清寿園の空調設備改修費4240万円、高齢者見守り対策事業375万円、保育士等処遇改善臨時特例事業2183万9千円、末吉町グミキ谷地区の農道整備を行う農業基盤整備促進事業2023万8千円、地域振興住宅建設事業3億3100万3千円、理科教育設備備品を整備するための小学校教育振興費626万2千円、中学校教育振興費220万4千円の追加が主なものです。

☆平成25年度曾於市国民健康保険特別会計予算の補正
(全会一致 可決)
今回の補正は、284万8千円を追加し、総額を61億6958万9千円とする。

☆平成25年度曾於市後期高齢者医療特別会計予算の補正
(全会一致 可決)

今回の補正は、153万5千円を減額し、総額を1億866万5千円とする。

☆平成25年度曾於市生活排水処理事業特別会計予算の補正
(全会一致 可決)

今回の補正は、67万6千円を減額し、総額を5億238万1千円とする。

(全会一致 可決)

☆平成25年度曾於市介護保険特別会計予算の補正
(全会一致 可決)

今回の補正は、4265万4千円を追加し、総額を9億9643万8千円とする。

☆平成25年度曾於市公共下水道事業特別会計予算の補正
(全会一致 可決)

今回の補正は、1万3千円を減額し、総額を2億4988万7千円とする。

☆曾於市特別職等の職員の給料の臨時特例に関する条例の制定
(賛成多数 可決)

国からの要請を受け、特別職等の給料月額について、市長20%、副市長10%、教育長10%を平成25年7月から平成26年3月までの間減額するものです。

☆平成25年度曾於市水道事業会計予算の補正
(全会一致 可決)

今回の補正は、524万3千円を減額し、収益的支出の総額を4億8156万7千円とする。

条 例

☆曾於市特別職等の職員の給料の臨時特例に関する条例の制定について
(賛成多数 可決)

国からの要請を受け、特別職等の給料月額について、市長20%、副市長10%、教育長10%を平成25年7月から平成26年3月までの間減額するものです。

☆曾於市職員の給与の臨時特例に関する条例の制定
(賛成多数 可決)

国からの要請を受け、一般職員の給料月額について、平均6・05%、管理職手当10%を平成25年7月から平成26年3月までの間減額するものです。

陳情

☆「お生きいき健康センター」利用に伴う送迎サービスに関する陳情

(全会一致 採択)
提出者 末吉町深川 46
67番地
末原 利雄氏

末吉老人福祉センターの老朽化のため平成24年度末をもって閉館となり送迎サービスが中止されるに当たり、これまでどおり単位老人クラブごとにお生きいき健康センターの送迎サービスを望む陳情である。

☆少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書採択の要請について

(全会一致 採択)
提出者 財部町北保 18
69番地
松元 義邦氏

☆政府の地方財政対策に関する意見書の提出について

(全会一致 採択)
提出者 末吉町二之方 1
980番地
大迫 伸一氏

意見書

☆政府の平成25年度地方財政対策に関する意見書

(全会一致 可決)
本来、地方公務員の給与は、個々の自治体が地方公務員法の趣旨を踏まえ、条例に基づき自主的に決定されるものである。よって、その自主性を侵すことのないよう求めるものです。

☆少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2014年度政府予算に係る意見書

将来を担う子どもたちへの教育は極めて重要であり、子どもたちが全

国どこに住んでいても教育の機会均等が担保され、教育水準が維持向上されるように施策を講じることを求めるものです。

以上2件について、内閣総理大臣外、関係機関へ提出しました。

辺地に係る公共的施設の総合整備計画について
○末吉町石之脇・平澤津
辺地

(全会一致 可決)
石之脇・平澤津線を改良整備することにより交通安全並びに災害時の避難路の確保や公共施設への連絡時間の短縮・災害時の孤立化の防止等が図られ生活水準の向上及び地域との立地条件の格差緩和だけでなく、農産物輸送等が便利になり地域産業経済の活性化に寄与される。

○財部町高塚・桐原・溝ノ口辺地

(全会一致 可決)



財部町高塚・桐原・溝ノ口辺地

本路線沿線には、三連轟の滝等もあり、観光資源として今後開発が期待され、観光地を結ぶ幹線道路として重要な路線である。しかし、現在4m弱の道路で大型車両通行や車両離合にも苦慮している状態であるため、本路線を改良し、地域の交通の利便と観光による地域振興を図る。

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員候補者として推薦するため、議会に意見が求められ、適任とされました。

大窪 義孝氏(73歳)
末吉町深川 7016番地 2
中山 壽子氏(65歳)
末吉町諏訪方 9705番地
幸田 貞文氏(65歳)
大隅町中之内 5039番地 2
※ 任期は平成25年10月からの3年になります。

監査委員の選任

現監査委員である佐々木氏を、再任しました。
佐々木 良昭氏(65歳)
大隅町境木町 18番地
※ 任期は平成25年7月からの4年になります。

一般質問
8議員登壇

市政を問う

フラワーパークは中止を

市長／中止の考えはない



徳峰 一成議員

徳峰議員 花公園の収支を聞きたい。

池田市長 入場者は約3万9千人。収入約900万円。経費約1千900万円である。

問 只今、答弁された収支と、花公園の花の種類と規模内容の関連性を説明されたい。

市長 どういった花を植えるかは、今後検討したい。

収支については、曾於市や近隣市町の人口を

参考にした。

問 人口だけで収支を出すのでは、信用できない。また市長は、新幹線や霧島ジオパークなどのお客も見込めると答弁されている。

これらの数はどの程度か。

市長 計算していない。

問 利用者が答弁できないなら、これらのアドバランは撤回すべきではないか。

市長 今後行動するなかでお客は来ると思う。間違っていない。中止する考えはない。

選挙謀略ビラ、怪文書は取り締まりを

問 市長選挙前に、相手側を中傷・非難する出所不明のビラが配布されているが。

増田選管委員長 悪質な違反等は、警察とも連携して対応したい。

問 この怪文書は、市長の随行者が家畜市場で配っている。

市長 出所はちゃんとしたものが大事だと思う。

市長の4年ごとの退職金は廃止を

問 この制度は、時勢に合わないではないか。

市長 時勢に合わないと思う。

しかし曾於市は、県の一部事務組合に入っており、その判断に従いたい。

問 市長の判断で退職金は廃止できることで

ある。

一部事務組合を脱退して廃止を判断すべきではないか。

市長 一部事務組合のもとで対応したい。

一貫性に欠ける市有財産の貸付について

問 市が貸付けている市有財産は、県・商工会・自治会などに対して、有償、無償が個々にバラバラである。これでは行政としておかしい。

今後、整合性をもたせるべきではないか。



パークゴルフ場・フラワーパークイメージ図

新幹線と花公園は
イメージがわからないナー

ちょっと
ひとりごと

市長 今後、整合性がとれるよう取り組みたい。議員から指摘されたように有償、無償の判断基準を明確にしていきたい。

曾於市のブランド認証 品について

市長／認証品目の拡大に努めていきたい



今鶴 治信議員

今鶴議員 曾於市ブランド16品目が認証されたがそれぞれの品目の認知度は。

池田市長 平成23年度において16品目の加工品を曾於市ブランドとして認定した。昨年度実施した城山観光ホテルでのお披露目会や、市民祭のグルメ街道でのPR効果もあり、特に肉やゆず製品については販売も堅調に推移

している。

問 これまでの曾於市ブランド認証品の普及啓蒙の活動の取り組みは。

市長 県外では、横浜の「キヤメロットジャパンホテル」、大阪での「かごしまファン感謝デー」、阿倍野近鉄百貨店や「東京ミッドマーケット」でのPR販売を行った。市内での取り組みは、曾於市観光特産開発センターが事務局となり「ブランド認証販売促進事業」として市内外で19回の事業を展開した。

問 曾於市のホームページを閲覧しても、ブランド品目の詳しい説明が足りないと思うが。

市長 今後、それぞれのブランド品目の認証理由や特徴など、詳しく

い説明の掲載を検討する。

地域高規格道路（都城・志布志道路）整備について

問 都城・志布志道路の末吉ICから県境までの末吉道路の事業化が決定したが、これからの整備事業の進め方は。

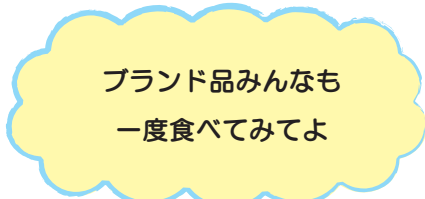
市長 曾於市内については、末吉ICから有明北IC間がすでに開通している。県境区間の2・7kmが計画区間のままであったが、各関係自治体で構成する「都城・志布志道路建設促進協議会」等の活動を中心に、国・県への要望活動を繰り返し行ってきた。今回、整備区間の指定を受け1億円の予算配分がなされた。

事業の進め方については、本年度の秋口に地元説明会を開催し、測量設計に着手しその

後、道路計画、用地買収が進む予定である。

問 計画路線には、市文化財遺跡の平松城跡地があるが影響はないか。

市長 県からは、当初トンネルで抜ける案で検討している旨の話があったが、その後検討を重ね、平松城跡を避けてより東側に迂回する計画に変更したいとの説明を受けている。



ブランド品みんなも
一度食べてみてよ

ちょっと
ひとりごと



全線開通が待たれる末吉IC

池田市政の総括は

市長／合併時に比べると着実に前進している



大津 亮二議員

大津議員 池田市政誕生8年を迎えるがこれまでの総括をさげたい。

池田市長 旧3町の融合と一体感の醸成に取



市制8年を迎えた曾於市役所

り組んできた。曾於市名も確実に定着し、市の個性も広がりを見せ、1期目の政策実行計画60項目の内約90%を達成し、2期目5項目もほぼ100%達成の見込みで、合併時に比べると確実に好転し、着実に前進していると総括している。課題は農林業従事者の減

少と高齢化、資材等価格の高騰、木材価格の低迷、商店街の活性化、交流人口の増への対策、少子高齢化、学校規模の適正化、学校・社会教育施設の老朽化、助成金の適正化等が主な課題である。

商工業振興について

問 商店街振興のキーワードは何か。

市長 商店街は集客力が弱い傾向にあり、近隣の大型店へ顧客が流れている現状である。今後、高齢者の方々に対する細かな対策が鍵で、思いやりバス・タクシーの活用、イベントの開催や商品券の発行等で、商店街へ集客を図ることが必要である。

に移転されると近隣商店への影響は大きい。

問 3町の中央公民館が老朽化しており、建築計画が必要ではないか。

市長 末吉中央公民館の昭和37年を始め、大隅、財部も昭和40年代に建築され、どこも老朽化が進んでいる。(仮称)社会教育関連施設

在り方検討委員会等を設置し、総合的に検討したい。

市内高校の振興策は

問 3高校に、閉校までの期間、支援策はないか。

市長 有終の美が飾れるよう、どのような支援が可能か3高校等の意見を聞き検討したい。

問 新設高校の開校までの動きについては。

市長 校名は「曾於高等学校」と決定した。この後、設置学科や制



賑わいが望まれる末吉商店街

服・校歌・校章・学校行事等について6月中旬以降に決定する旨の説明を受けている。

問 県教委へ要望してきた事と市単独の支援策は。

市長 市内外から生徒を集め、地域に根ざした魅力ある新設校の設置と進学コースの設置、3高校にある専門学科の維持を要望した結果、生徒が個々の進路に応じて科目選択が柔軟にできる教育課程等の構想が示され、国立大学進学を実現する

ため文理科の設置、畜産食農科、商業科、機械電子科にするとの回答を得た。

市単独の支援対策は必要で、内容について検討を進めている。通学バスについても何らかの対応を検討したい。

高校支援やるんだったら
今でしょ！

ちょっと
ひとりごと

F M移行後の地域内放送は市の責任で整備を

市長／地域内の情報伝達手段として色々な角度から検討していく



吉村 幸治議員

吉村議員 市営放送のオフトーク・有線放送から※コミュニティFMへの移行時期は。



オフトーク（電話回線）による地域内放送（財部町南自治会）

池田市長 コミュニティFMは財部のオフトークサービスの停止を受けて、財部地区を先行して平成27年度に運用を開始する計画である。

問 併用運用を考えているのか。

市長 大隅・末吉の運用開始は、その後になるので、有線放送との併用運用はあるものと思っている。

問 地域内（自治会）放送をどのように捉えているか。

市長 地域内放送の利用率は市全体の約34%で各地区とも、さほど高くないところだが、地域内の情報伝達手段としての意義については理解している。

問 FM導入収支計画では財部開始の27年度に地域放送機とオフトーク電話料があるが、その内容は。

企画課長 地域放送機は今まで活用しているところが親機を導入した場合、オフトーク電話料はFM放送と二年間併用運用した時の試算計画である。

問 地域内放送にこの3100万円を一年前倒して26年度に有効に活用して整備できないのか。

市長 その方向を前提として今後、色々な角度から検討していく。

庄内川・溝ノ口の河川改修の早期完成を

問 河川改修計画は23年3月の地元説明会で示した計画に沿って、県と協議しながら進めているのか。

市長 22年の災害後庄内川の寄洲の除去、河床の掘削、堤防の大型土のうによるかさ上げ等が緊急的に行われたが、本格的な河川改修は目に見えて進捗がない。

先般、宮崎県との協議も整ったとのこと、今後は地元説明会等も予定されている。

問 いまだ計画に無い

溝ノ口橋の改良はどうなっているのか。

市長 河川改修計画が溝ノ口橋の上流の井ぞきまどとなっていて、県で改良する方向で進めているとのことなので、市としても一生懸命取り組んでいく。

問 早期の完成を願うが、全体の工事完了目標年度は。

市長 予算の確保等にもよることから、宮崎県や地元との調整を図りながら進めるとのことであり、さらに市として早



県境を流れる庄内川（関之尾上流）

期完成に向けて、災害が二度と繰り返されないように取り組んでいく。

地域づくり一緒に頑張りましょう
ちょっとひとりと

※ コミュニティFMとは
注釈：市町村の一部において平成4年に制度化された超短波（FM）放送局。災害時や緊急時にリアルタイムで停電・断水の状況など情報をきめ細かく提供できる。

地域福祉計画策定状況

市長／18地区が策定を終了している



池田市長

い校区は何件か。旧町ごとに聞きたい。

迫議員 26校区による校区社会福祉協議会のうち、校区地域福祉計画が立ち上がっていない

池田市長 地域福祉計画については、平成21年度より順次策定されており、現時点では、18地区が策定を終了している。まだ地域福祉計画が



下財部社協の策定委員会

策定されていない校区は、大隅2校区、末吉6校区である。

問 各校区社協の地域福祉計画策定に対して職員サポートを必要とした校区があったか、行政のプロとしての協力が必要であるが経過はどうであったか。

福祉事務所長 地域福祉計画策定については地域住民自ら策定することが望ましい。今日までは、職員が参画した校区はないが、職員も地域住民の立場でもあることから、今後検討し対応したい。

問 高齢者見守り対策基本方針により、共助として、在宅福祉アドバイザーと曾於市社協の「ほっとサービス」の有償ボランティアと無償ボランティアの違いのとりえ方はどうか。



誇りある校旗

所長 在宅福祉アドバイザーは、ボランティアであるが市の方から1回500円、年間6000円以内、社協の方から年間2000円、併せて最大8000円の謝礼金が支給される。

一方、「ほっとサービス」の方は支援する人もそれを使う人も市社協に登録しており、支援をお願いするとき決められた金額を支払うことになる。

問 校区社協について

現在、どのような状態で活用されているか。また今後の考えは。

植村教育長 曾於市立が2校、旧町立が9校、校名のみが10校、校章のみが2校あり、入学式、卒業式、運動会等に利用されている。

今後、各学校の実態を調査、把握の上、学校や地域だけに任せるのではなく、必要に応じて市の予算で対応したい。

所長 市社協から人口割りで180万円を按分で26校区割ると7万円ぐらいと、地域福祉活動をするに5万円の支給がある。その他、手あげ方式の共同募金の事業がある。

小・中学校の校旗について

問 学校統合並びに三町合併により、校旗は

みんな、母校の校旗は
誇りだよな

ちょっと
ひとりごと

住吉神社の流鏝馬を地域振興に活かせ

市長／末吉豊祭を一体的に考えたい



土屋 健一議員

土屋議員 毎年11月23日は末吉豊祭が催される。流鏝馬は県指定無形文化財である。

馬と射手を育成しなければならぬ特殊性があるが、保存伝承は大丈夫か。末吉豊祭の全体イベントの主催が明確でない。市がもっと関与を深め、より発展させ地域振興に繋げる必要がある。



県指定無形文化財の流鏝馬

と思うがどうか。

植村教育長 県内3大流鏝馬のひとつ。大切に保存伝承すべきと認識している。

馬の飼育と関係者への支援は、積極的に取り組みたい。末吉豊祭の武道大会は実行委員会が組織され社会教育課が事務局となっている。

池田市長 神社、流鏝馬保存会、武道大会の一体化は必要と思う。市、保存会、経済団体、観光協会等で実行委員会を立ち上げ体制を整えていく必要がある。

教育力向上について

問 今春の中学校卒業生で有名進学校への進学、学力面での特待生進学の状況はどうであったか。

各中学校にエリート育成の仕組みは構築できないか。

教育長 進学先の高校は、鹿児島中央1名、加治木1名、志布志24名、都城西31名、泉ヶ丘2名となっている。特待生で鹿児島第一4名、鹿児島実業1名、都城東1名である。義務教育の中ではエリート育成はできない。

数学や英語で学習の習熟度に応じて指導は行っている。

問 ①心の教室相談員設置事業、②スクールカウンセラー配置事業、③スクールソーシャルワーカー活用事業の24年度実績は。

多くの不登校児童生徒の心の居場所は必要。志布志市、鹿屋市、霧島市、都城市、三股町などは適応指導教室を開設しているが、曾於市には必要ないのか。

教育長 ①は4名の相談員で339回、友人関係、家庭生活の相談

が主。



近隣市にある適応指導教室

②は3人のカウンセラーで238回、不登校、友人関係が主。③は2人のソーシャルワーカーで792回、いじめ、不登校が主で専門知識を要する。適応指導教室は今のところ考えていない。前述の①②③で不登校や教育相談体制の充実を図っていく。

適応指導教室は、曾於市だけ無いんだよなあ…

ちょっとひとりごと

高原病院の移転問題に伴う末吉中央公民館の今後の対応は

市長／移転問題と跡地利用については慎重に検討したい



海野 隆平議員

海野議員 高原病院は、昭和21年6月に診療所開設以来、末吉地域の基幹病院として、曾於市民の健康を支えてき



築50年の末吉中央公民館

池田市長 高原病院は診療所を開設以来、地域に根ざした診療活動を続けてこられ、地域住民の健康を支えてきていただいている。

た病院であり、街中心部に必要な病院と考えるが、市長の見解を求めたい。

曾於市にとって、市民の健康及び生命を守る大事な基幹病院の一つであり、高齢者福祉を支える介護福祉施設でもあるので、街中心部に位置することにより、商店街の活性化にも大変寄与しているものと考えます。

問 今期、6月定例会に陳情も上がっているが、新たな病院の建て替え計画については、どのように認識されているのか。

市長 本年2月21日付けの医療法人参篤会からの「末吉中央公民館の土地取得に関する要望書」で承知している。同じく3団体より連名により「高原病院建設に関する陳情書」が出されており、病院建て替えに際しては、隣接している末吉中央公民館を移転し、跡地を高原病院に譲渡願いたいという内容である。



企業誘致が待たれる内村工業団地

末吉中央公民館は昭和37年に建設され、築50年経過している。

今後、移転問題と跡地活用については慎重に検討したい。

本市のこれからの企業誘致は

問 市長の企業誘致に対する考え方、今後の目標、計画について。

市長 これまでの企業誘致については、雇用力のある製造業を中心として推進してきた。

今後、内村工業団地

へ一社の立地協定を予定している。

問 地元の中小零細企業者の育成については、どのように考えているか。

市長 セーフティネットの活用による経営の安定対策や、平成24年より市単独の商工業新規就業者支援事業による新規参入及び、後継者の育成確保対策を講じている。

問 県企業懇話会やか

ごしま企業家交流会等からは、どのような情報を得ているのか、また情報に対する対応は。

市長 国内企業の動向は、国内生産拠点の再編や、生産の海外へのシフト、新興国への投資拡大をしているのが現状、県等からの情報は少ない。

情報提供があつた場合には、すぐに対応するように指示している。

病院はやっぱり
近くがよか！！

ちょっと
ひとりごと

畜産振興基金貸付事業 2頭を4頭に

市長／経営確立に効果があるので検討する



原田賢一郎議員

原田議員 繁殖雌牛導入事業、1頭3万円補助を1戸当たり7頭ま

池田市長 規模拡大のための更新と更なる増頭を図るうえで効果がある。

で補助していたが、今回それを15頭まで引き上げたその効果をどう考えるか。



活気のある畜産共進会

問 昨年度における交付の状況は。

市長 市全体で1〜2頭418戸、3〜4頭63戸、5〜6頭22戸、7頭14戸であった。

問 畜産振興基金貸付事業（1農家当たり40万円を2頭まで融資、4年目一括償還）の実績は。

市長 曾於市全体で113戸の160頭、貸付額が6246万6千円であった。

問 この事業を4頭にできないか。

市長 牛の更新率を考えると経営確立に効果があるので検討する。

国保の温泉利用券について

問 以前の定例会での一般質問で、「温泉宿泊券と温泉日帰り券を自由に選択できない



旧月野中



旧恒吉中

活用が望まれる学校跡地

か」に対し検討することであったが、どう検討されたか。

市長 県内市町村の状況を調査し、日帰り宿泊の自由選択について再検討してきた。

問 同じ金額の範囲内なら日帰りでも宿泊でもよいのではないか。

市長 予算の範囲内で日帰り、宿泊の区別を無くし、平成26年度から取り組む。

学校跡地の活用策は

問 県立高校跡地は市が積極的に計画を作り、県に提案すべきではないか。

市長 早い機会に跡地検討委員会等を立ち上げ、県と連絡、協議を行なっていく。

問 中学校跡地（旧月野中・恒吉中）の活用は。

市長 跡地活用には至ら

ていない。引き続き民間活力等を含めた検討を行う。

中学校閉校後8年にもなるのに何やってるの

ちょっとひとりごと

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会
- 特別委員会

各常任委員会等では、所管事務調査及び開会中の6月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会

(吉村幸治委員長)

所管事務調査

○長野県東御市

(調査事項)

コミュニティFM放送局の開局と取り組み

情報の共有化による一体化したまちづくりを推進するため、合併前から引き続いた「オフトーク通信」と「有線放送」の後継となる、新たな情報伝達システムを整備を検討し、行政の一方的な情報伝達だけでなく、地域の情報を「ラジオ」を通して双方間で活用できるコミュニティFMに着目して、平成20年度から具体的に取り組み、平成22年10月に開局し、約1年半は有線放送等を併用運営していた。

なお、地域内放送については要望を取り、必要などころは事業を

活用して市が全ての設備を整備していた。



地域内放送用送信機

○京都府京丹後市

(調査事項)

不利な立地条件下での本格的企業誘致の取り組み

京丹後市の誕生から4年「新・丹後王国の創造」に向け全庁あげて企業誘致活動に取り組んでいた。

古くからものづくりの地として知られてきたが、主要な取引先がある京阪神地区まで片道2時間半以上かかる

ため、市内企業の育成・高度化を重視、財源を産業の育成に集中するという明確な姿勢を打ち出していた。

☆曾於市過疎地域自立促進計画の変更

問 平成24年度の国の大型補正により繰越等になつている事業はどれか。

答 基盤整備の林業・木材産業構造改革事業(森林組合)及び、消防施設の通信指令室再部分更新事業(消防組合)等が対象である。

意見 オフトーク代替施設整備のコミュニティFMは、地域内放送が必要な地区について、同時に市が責任を持つて計画を進めるべきである。

☆辺地に係る公共的施設の総合整備計画(財部町高塚・桐原・溝ノ口辺地)

問 桐原・溝ノ口線の5ヶ年間の整備計画は。

答 総延長2770mの内、5ヶ年間で延長700m、幅員6m、事業費9700万円の改良計画である。

意見 本市有数の観光地である悠久の森・大川原峽・桐原の滝等と溝ノ口岩穴・関之尾滝を結ぶ路線で、路線沿線には三連轟の滝等もあり観光振興の視点に十分留意して、計画を



辺地計画地の桐原・溝ノ口線

進めるべきである。
・辺地事業は一番有利な財政的裏付けがあるので、道路整備計画のある地域を洗い直し事業を実施する担当課と十分協議して積極的に計画を進めるべきである。

☆平成25年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

問 曾於市ホームページ制作委託料とは。

答 県の緊急雇用創出事業臨時特例基金を全額活用して、新たに作り直すための委託料である。

問 コミュニティ助成事業は何ヶ所を申請したのか。

答 3ヶ所申請して、2ヶ所(柳迫校区公民館・七村自治公民館)が採択になった。

なお、申請しても採択基準があるので採択されるかわからない。

文教厚生常任委員会

(大川内富男委員長)

所管事務調査

○広島県尾道市

(調査事項)

地域医療の確保・医療連携の取り組み

尾道市は、医師会の主導により尾道方式と呼ばれる医療と、福祉の多職種協働による在宅医療・介護の支援システムが構築されていた。

医療機関における死亡割合が増加の一途をたどり、将来病院がパンク状態になることが予想されるため、急性期から切れ目のない、医療・看護・福祉・介護サービスを提供されており、在宅医療・介護への円滑な支援システムは注目すべきものであった。

○大阪府守口市

(調査事項)

ICT (情報機器活用)

教育の取り組み

ICT教育の理念は

① 社会の情報化が急速に進展するなかで情報社会に対応していく力を養成すること

② 授業というものは子どもと教師による人間関係により育まれる。という考えの下、教師は授業向上、子どもは発表の道具として、電子黒板を使用しており、子どもはインターネット等で得た情報をまと

める力、みんなの前で発表する力が確実に定着しているとのことであった。

☆平成25年度一般会計
予算の補正(所管分)

問 高齢者見守り対策事業375万円の増額は。

答 県の100%補助により、在宅で生活する高齢者、及び障害者等を地域全体で支える仕組みを構築することを目的に、暮らし安心・地域支え合い事業として、社会福祉協議

会に委託するものであり、コーディネーターの人員費、事務費等である。

問 保育士等処遇改善臨時特例事業2183万9千円の増額は。

答 保育士等の処遇を改善することにより人材を確保し、待機児童の解消を図るものである。

問 新たに設立する曾於地域医療確保対策協議会は。

答 都城市郡医師会病院の移設に伴い、曾於医師会立病院に期待される役割が相対的に高まることから、曾於地区2市1町で設立するものである。

問 小学校・中学校の教育振興費846万6千円の増額は。

答 近年の科学力の低下に対応するため、観



先生がんばって!! (ひこばえ保育園)

察・実験等を通じて知識・技能を習得させることを目的に理科教育用教材を購入するものである。

問 保健体育施設6510万円の増額は。

答 南之郷中学校跡地のうち社会教育課に移管された運動広場の改修に伴う工事請負費である。

☆平成25年度国民健康保険特別会計予算の補正

平成24年度事業の精算、及び人事異動に伴う職員給の変更による歳入、歳出の追加、または減額が主なものである。

意見 財産の管理については、地元の意見・要望等を十分くみ入れた対応を求める。



守口市での事務調査

建設経済常任委員会

(山下 諭委員長)

所管事務調査

○千葉県船橋市

(調査事項)

6次産業への取り組み

生産(1次産業)、加工(2次)、販売(3次)を全て同一地域、あるいは組織、人が行っていることを指して6次産業といっている。

都市近郊農業地帯ではあるが、船橋市の小松菜を6次産業化した実例を研修する。

結論として、リーダーの力、地域の連携、各種職業との共生と活動、継続した宣伝、補助に頼らない自力の行動が成功すると感じた。

○千葉県潮来市 (調査事項)

災害後のインフラ復旧と整備について



潮来市での事務調査

潮来市は、平成23年3月11日の東日本大震災の被害を大きく受けた市である。

特に住宅被害5601棟のうち、宅地開発地の液化化被害が2685棟(被害住宅の48%)となっている。他にも電気、水道、上下水道、ガス、道路の被害を受けている。特に曾於市として災

害時の参考になったことは、緊急時用の重機用燃料の常時確保、どこでも調査できる特殊車両の確保、道路、水道、上下水道、電線の復旧時の手順を定めたマニュアルの作成、市内業者との災害時支援協定締結であった。

☆市有住宅条例の一部改正

鹿児島県警察の駐在所再編に伴い、廃止された財部南駐在所跡の

建築物が、市に無償譲渡された(土地は市有地)ので、所得制限のない市有住宅とし活用する為の条例改正で、南方神社団地、平成7年建設、木造平屋1戸、93・55㎡の家賃2万3000円の住宅。

☆平成25年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

農道末吉グミキ谷地区舗装の内容は。

答 広域農道と農免道路六町線間にある水田用農道で、受益面積8・9ha、受益農家47戸に係る延長1170m、幅員4mの現況砂利道を舗装のみするものである。本年と26年の2ヶ年で実施する。

問 地域振興住宅本年度建設28戸の地域別入居申し込み状況は。

答 28戸の内訳は、末

地域振興住宅の建設場所及び年度・棟数

地区	団地名	建設年度						計
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	
末吉	1. 諏訪団地	1	1	4		5	2	13
	2. 深川団地	2	2	3		1	2	10
	3. 柳迫団地	3	1		1	9	5	19
	4. 原口東団地		2	1				3
	5. 柳井谷団地		3	2				5
	6. 櫛上団地				1		1	2
	7. 櫛上第2団地					4	2	6
	計	6	9	10	2	19	12	58
大隅	1. 笠木団地	1						1
	2. 坂元合ウッドタウン	1		1				2
	3. 須田木団地		1					1
	4. 笠木第2団地			1				1
	5. 笠木第3団地					1	2	3
	6. 下岡団地			1	2		2	5
	7. 菅牟田団地			2			2	4
	8. 恒吉団地						1	1
	9. 八合原団地						5	5
	計	2	1	5	2	1	12	23
財部	1. 中谷団地	2	1					3
	2. 馬立団地		1	2	2		2	7
	3. 沢田団地			1	4	2		7
	4. 大川原団地					1	2	3
	計	2	2	3	6	3	4	20
	合計	10	12	18	10	23	28	101

(注) 建物は面積90、29㎡、構造は3LDK又は4LDKを基本とする。

吉12戸、大隅12戸、財部4戸で、申し込みは全体で50件あり末吉26件、大隅13件、財部11件であった。

意見 地域振興住宅(40歳以下の家族が市外から市内の過疎地に転入した場合の特例な住宅)が、事業開始の平成20年から本年25年度建設分を含め101

戸となった。毎年希望者が増えてきているが、建設場所が常に問題になっている。この100戸を区切りとして今までの建設場所や管理等を検証し、継続して実施すべきか、他の方法はないか等、今後の課題を検討すべきである。

平成25年度議会報告会開催

議会運営等調査特別委員会 久長 登良男委員長



5月23日(木)午後6時30分から今年度の議会報告会を3会場(大隅・末吉・財部)で開催しました。

この報告会は、議会の活動状況などを報告し、また、市民の皆様の声聞き、今後の議会活動に活かすため実施しました。当日は、88名の参加があり、市政全般について、多くの活発な意見が出されました。

主な質疑や意見

パークゴルフ場・フラワーパーク等の建設について

- ・作るなら全国一の立派なものを作って
- ・作ることは賛成するが、今後建設した場合税金が高くなるのか

- ・合併特例債が活用できるから作るのではなく、ほかにもやるべき事業があるのではないか

- ・合併特例債は活用しなければ損をするということ聞いたことがあるが、建設費13億5千万円のうち、市の負担はいくらになるのか。

オフトーク

末吉、大隅は有線放送だが財部町はオフトークを利用してということだが、説明では、なくなるというのだが、もう少し詳しく説明を。自治会放送はどうなるのか。

その他

- ・自治会統合支援策について、高齢化、小規模化が進行して限界集落になりつつある。自治会統合に対する支援策を検討してほしい。

- ・議会基本条例の制定

はなぜ遅れているのか

- ・高齢者の見守り対策は万全か。専門員は不足していないか

- ・学校跡地利用については、条例化が必要ではないか

- ・学校規模適正化について、小学校統合を議会として議論されていないのか

- ・高齢畜産農家への助成については、若い後継者の育成も大事であるが、全体としての頭数維持のためにも高齢者の少頭飼育農家へも手厚い助成を望む。

以上のような質問や意見がありました。

6月定例会では、このご意見等を踏まえ、議員が一般質問をしました。

また、報告会では、アンケート調査も行った結果、約半数の方が参加して良かったとの回答をいただきました。

た。

良かったと回答された内容については、

- ・議会や委員会の活動内容が理解できた。

- ・議会(議員)が身近に感じられた。

- ・市民の意見も多数出て、有意義な報告会だった。等のご意見等がありました。

その他、

- ・各委員会の説明資料が少ないため、委員の説明がわかりづらい。

- ・せっかくの報告会なのに参加者が少なくてもったいない、もっと参加者が多くなるように考えてほしい

などのご意見もありました。

今回の報告会やアンケートで、多くのご意見等をいただきましたので、今後、内容を確認、検討しながら調査研究してまいります。

全国議員表彰を受賞

全国市議会議長会より、4名の議員が表彰され表彰状の伝達が行われました。

○議員在職 20年以上

徳峰 一成議員（20年表彰）
（町議：26年2月、市議7年9月）

○議員在職 10年以上

谷口 義則議員（12年表彰）
（町議：17年10月、市議3年9月）

吉村 幸治議員（10年表彰）
（町議：6年2月、市議7年9月）

大川原主税議員（10年表彰）
（町議：6年2月、市議7年9月）



徳峰議員 谷口議員 吉村議員 大川原議員

※ 全国市議会議長会議員表彰は、10年以上市議会議員の職にある者が対象。
町議会議員の勤続年数は、2分の1を市議会の継続年数に加算します。（平成25年4月現在）

曾於市議会基本条例(案)に対する パブリックコメント(市民の意見)

平成22年12月の本会議において、議会の権能を十分発揮するために言論の府として議員の発言を保障し、活発な議論を推進することと、二元代表制の一翼として行政機関との緊張ある関係を保ちながら、議会の責任を果たし、市民の負託に耐え得る議会を構築していくことを目的として、議会運営等調査特別委員会が設置されました。以降、委員会を開き、この度、曾於市議会基本条例(案)を策定したところであります。

つきましては、この条例に対する市民の意見を下記の要領で求めています。

1. 募集期間

平成25年7月16日(火)から平成25年8月16日(金)まで[消印有効]

2. 意見の提出方法

住所、氏名、電話番号をご記入の上、郵便、ファックス、電子メールなど書面での提出をお願いいたします。

※任意の用紙で結構ですが、住所・氏名・電話番号をご記入下さい。

3. 詳細事項

条例は、曾於市議会事務局で閲覧できます。また、曾於市ホームページからもご覧いただけます。

◆提出・お問い合わせ先

・曾於市役所議会事務局議事係

TEL 0986-76-8816 FAX 0986-76-8901

Eメール: gikai@city.soo.lg.jp

・住所

〒899-8692 鹿児島県曾於市末吉町二之方1980番地



曾於市へようこそ



～市内の地域振興住宅へお住まいのご家族を紹介します～

今号のご家族は、大隅町坂元ウッドタウンに平成23年4月入居の茶屋さんファミリーです。

ご主人は霧島市隼人町出身で、福山酢醸造と、レストラン桝志田でお馴染みの福山黒酢(株)にお勤めです。

奥さんの美由紀さんの出身地である当地は実家に少し近く、仕事場にも少し近く、丁度いいと快適のようすです。

まだまだ若いお父さん、お母さん、くるみちゃん、仁蘭^{みらん}くん、弟・妹ができるほど丁度いいでしょう。

そして、大隅北の輝ける星たちとなってくれることでしょう。



茶屋佳史さん (25歳)

美由紀さん (25歳)

くるみちゃん(3歳)

仁蘭^{みらん}くん (1歳)

子ども達が明るく健康やかに成長することを願っています。(今鶴)



表紙によせて

梅雨明けとともに猛暑日が続く、加えて参議院議員選挙、市長選挙とまさに暑い夏となりました。夏休みはいつもより子ども達の姿を目にします。六月灯や夏祭り、子供会活動に集う子供達のやんちゃや振りど屈託のない笑い声にホッとさせられます。

編集後記

家庭でも地域でも子供達の存在が大人達を支えているのかも知れません。子ども達にしっかりとした時代と地域を残せるか否か、私達大人に大きな責任があります。

議会だよりは限られた紙面での編集となります。発言の趣旨や報告をしつかりお伝えできるよう協議を重ねての発行となりました。ホームページでの動画配信もぜひご覧ください。

(土屋)

議長 谷口 義則

副議長 九日 克典

委員 八木 秋博

特別委員会



●議会をライブ中継しています！●

曾於市議会では、インターネットによるライブ中継を行っております。

映像は曾於市のホームページより、「議会映像配信」のボタンをクリックしてお入りください。

<http://www.soo-city.stream.jfit.co.jp/>